

新入生の皆さん、ご入学誠にありがとうございます。またご父母、ご関係の皆様にも心よりお祝いを申し上げます。

本日、皆さんが一堂に集まり、直接顔を拝見しながら、入学の喜びを分かち合えることを大変うれしく思います。

さて、今日皆さんが大学生、大学院生になるというこの「タイミング」について考えてみましょう。この時代を生きる、地球に生きる皆さんが、今大学生となる意味についてです。コロナ禍や地震に代表される災禍は、全世界に大きな混乱を引き起こし、人間は決してこの地球の支配者ではないことを痛感しました。社会のグローバル化の進展は、順風満帆とはならず、それどころか大国による戦禍すら勃発する国際秩序の脆弱さが露呈しました。またデジタル化やAIによって、改めて人間社会の倫理が問われ、社会のありようそのものが変革の時を迎えています。

このような時代背景の中で、皆さんが新たなステージのスタートラインに立つ姿を、私たち大学関係者だけでなく、社会が大いなる期待と応援の眼差しを持って見つめています。皆さんにとって、この上智大学への進学は、皆さんの人生における最大級の選択であるという覚悟で臨んでもらいたいと思います。今皆さんは、社会の変革に対して責任ある立場に立ち、役割を果たし、それをもって自分自身の人生を充実させるための、最終の準備段階に入ったと言えるのです。

先に触れたグローバル化とデジタル化についてももう少し考えてみましょう。デジタル化による革新的な情報社会の到来は、社会のグローバル化に大きな影響をもたらします。私たちは地球の隅々まで、その様子をほぼリアルタイムに垣間見ることができます。これは人々の相互理解も促進しますが、一方では分断を招く源にもなります。かつて飛行機の出現は、移動時間の観点から地球を小さくしました。デジタル化の進む情報社会の出現は、社会を小さくしています。

皆さんの生活の中にすでに浸透している習慣だと思いますが、私たちは実に多くの情報にアクセスしながら日々を過ごしています。私たち個人の処理能力を超えても、なおも情報にアクセスし続けることができるこの状況は、情報過多の時代と評されることがあります。一方で、情報は取捨選択すれば良いのだから、その選択対象は多い方が良いのだという考え方もあります。いずれにしても、私たちは情報の取捨選択を行わなければなりません。真偽、善悪など、情報を正しく判断することはもちろん、その情報から導く「何か」に対して自分自身が責任ある態度を示さねばなりません。偽の情報による個人や社会の空転を考えると、そこに費やされるエネルギーの損失は、長い歴史の中でも、最も非生産的な虚しい社会活動であると言えるでしょう。

大学での学びも同様です。多くの人が同じように情報にアクセスでき、AIがあたかも正解のように情報を出す現在、皆さんの学びにおいても、いかに自分らしく、独自性のある新しい知見を見出せるかがいっそう重要になります。ある社会課題に対して皆が同じ解を導

いたとしたら、結果として、その課題解決の糸口は、極めて狭まれた範囲でしか見出せないことになります。

学部入学の皆さんの多くは、コロナ禍が始まった混乱の渦中に高校進学を迎えた特別な学年です。あるいは想定外の大学生活の中でも大学院進学に向けて準備してきた方もおられるでしょう。さまざまな困難に屈することなく、志を成就させ、今ここに集まられていることに改めて敬意を表したいと思います。そのような皆さんであるからこそ、自分の個性を磨く学び、いわば学びそのものを創造的にデザインする力があるものと信じます。先ほどお話ししたように、多くの人が同じ情報への到達性を手に入れた時代です。多様性、個性が尊ばれるグローバル化の一方で、人々に画一性をもたらしかねないデジタル化が進行する現代社会は、相反する二面性に揺らいでいます。この揺らぎの社会の中では、皆さんの確固たる信念の醸成が大きな意味を持ちます。それこそが皆さんの個性だからです。

先ほど、カトリック・イエズス会センター長からマルコによる福音書の一節が紹介されました。古い服や、古い革袋に象徴されるように、新しい価値観や考えを学ぶとき、自分自身も新しい自分へと変わらなければなりません。人間の成長とは、常に新しい自分を準備しておくことで成し得られるものです。この機に、情報社会で、正しく、自分らしく歩み続ける新しい姿を見出していただきたいものです。

上智大学は、世界の90以上の国から学生が集い、すべての学部が集結するグローバルワンキャンパスを特徴の一つとしています。多様なバックグラウンドを持つ学生が、自分の専門性だけでなく多様な学術分野に触れ、多様な学びの機会を得て、多様な進路を見出し、社会での多様な役割を得ることができる特別な環境であると自負しています。For Others, With Others という上智大学の教育精神は、グローバル化、デジタル化の時代にあって、最も大切にすべき精神的基盤です。情報が自分自身というフィルターを通る時、自分の学びをデザインする時の、判断、選択の拠り所となることを切に願います。上智大学という類い稀な学びの環境で、弱者のために、時に見知らぬ誰かのために、他者に寄り添うソフィアンとして、大いなる成長を個性的に遂げられることを祈念して私の式辞とさせていただきます。

ご入学誠におめでとうございます。

2023年4月1日

上智大学長 曄道 佳明